

令和5年度事業報告書

当センターは、昭和58年開館以来、伝統的工芸品指定6産地をはじめ県内地場産業の振興拠点施設として、効率的な事業運営を行いながら関連業界や地域と連携し、県内の伝統産業の普及拡大に努めてきている。御旅屋セリオ2階に移転してからは、中心市街地の立地と公共交通機関のアクセスが良くなったことを活かした各種PR活動に努めている。

令和5年度は、当センターが開館40周年の節目の年であったことから県内伝統工芸産地や全国の地場産業振興センターと連携を図り開館40周年記念事業を実施した。記念イベントでは、全国10地域の地場産業センターが一堂に会し地域を代表する工芸品や食品などの販売をはじめ、県内6産地による特別展示会やものづくり体験などを開催し、地場産品や伝統工芸品等をPRした。併せて、全国高岡銅像マップの制作・展示や漆絵と蒔絵の教室、高岡漆器探求1Dayツアーを銅器、漆器の各協同組合と市の共催により実施し、伝統工芸等の魅力の紹介と浸透を図った。

また、3月16日には北陸新幹線金沢・敦賀間が延伸開業し、関西圏域からの観光客の増加が期待されることから観光PRイベントへの参加や旅行エージェントへの出向宣伝を積極的に行い来館者の誘致に努めた。

主な資金収支の内容としては、事業活動収入の事業収入が49,412千円で対前年50,026千円に対し、613千円の減収となった。このうち販売業務収入については、観光客の復調により新高岡駅観光交流センターMONONO-FU や御車山会館ギャラリーSHOPで増収となり、センター展示販売場においても特別注文を除く来館者の販売は好調に推移した。一方、施設使用料収入については、旧施設の不動産貸事業が終了したことにより減収となった。また、同事業に係る受取補助金の減額等により受取補助金収入は7,227千円の減収となった。これらにより事業活動収入計は127,116千円で対前年134,992千円に対し、7,876千円の減収であった。

事業活動支出の事業費支出では、計画的な委託費の引き下げにより委託費支出が減少したが、40周年記念事業開催に伴う支出等により増額となった。管理費支出では、電気代の高騰による光熱水料費の増加や能登半島地震に伴う小規模修繕を行い、事業活動支出計は127,493千円となり、前年130,262千円に対し、2,768千円の減額となった。その結果、事業活動収支差額は△337千円となった。

投資活動支出は防犯カメラの増設等により1,605千円となり、投資活動収支差額は△605千円となった。以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を合わせた当期収支差額は△982千円となり、前期繰越収支差額18,542千円を加えた次期繰越収支差額は17,559千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

ZIBA 展示場や体験工房等の施設について、適宜清掃等により明るく利用しやすい施設維持を行った。

また、令和 6 年能登半島地震により体験工房や事務所等の床や壁面に亀裂や歪みなどの損傷があった部分の補修を行った。

(2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行う団体が利用するミーティングルームやものづくり体験工房（鋳物、漆器）等の諸室について管理を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1) 販路開拓事業

① 「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2024 第 15 回 LIFE×DESIGN」への出展

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を募り、全国的な見本市である「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2024 第 15 回 LIFE×DESIGN」へ出展した。出展においては、6 産地団体を通し募集したところ高岡銅器 12 社、高岡漆器 1 社、越中和紙 1 社からの申込みがあったことから合計 14 社の出展とした。当センターでは、出展商品が効果的に見える展示方法や商談しやすいような空間づくりなどを設計業社と打ち合わせし、展示空間をプロデュースした。展示会は、総来場者数 223,040 人あり、当センターブースにおいても 327 件分の名刺交換があり、多くの集客を得ることができた。

・期間 令和 6 年 2 月 6 日(火)～8 日(木)

・場所 東京ビックサイト東展示棟 西 2 ホール

(2) 地場産業品普及事業

① 全国の地場産業振興センター等と連携するイベントへの出展、企画イベント開催

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに高岡地域の伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、地場産品の PR を行った。

ア 「第 25 回 TangoGoodGoods 見本市」への出展

・期 間 令和 5 年 10 月 21 日（土）～22 日（日）

・場 所 京都府宮津市民体育館

・出品物 銅器・漆器・菅笠の工芸品、昆布や煎餅などの食品

② 観光関連事業への参加協力

ア 「大人の文化祭 2023」

・期 間 令和 5 年 6 月 3 日（土）～4 日（日）

・場 所 長野県長野市 エムウエーブ

- ・出品物 銅器・漆器の工芸品、昆布や銘菓などの食品、地酒
- イ 「うえるかむ富山 WEST」
- ・期 間 令和 5 年 7 月 9 日（日）
 - ・場 所 三井アウトレットパーク小矢部
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- ウ 「宿・食・温泉なら能登七尾！」
- ・期 間 令和 5 年 8 月 18 日（金）～19 日（土）
 - ・場 所 東京都 KITTE 丸の内
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- エ 『富山で休もう。』メディアミーティング」
- ・期 間 令和 5 年 9 月 6 日（水）
 - ・場 所 東京都 TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- オ 「まるごと富山 WEST in ディーズスクエア」
- ・期 間 令和 5 年 9 月 8 日（金）～9 日（土）
 - ・場 所 大阪府大阪市北区梅田 ディーズスクエア
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- カ 「ふるさと全国県人会まつり 2023」
- ・期 間 令和 5 年 9 月 9 日（土）～10 日（日）
 - ・場 所 愛知県名古屋市栄 久屋大通公園
 - ・出品物 銅器・漆器・菅笠の工芸品、昆布や煎餅などの食品
- キ 「まるごと飛越能」
- ・期 間 令和 5 年 9 月 15 日（金）～16 日（土）
 - ・場 所 福井県福井市 にぎわい交流施設ハピテラス
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- ク 「北陸グスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議」
- ・期 間 令和 5 年 11 月 8 日（水）
 - ・場 所 福井県産業会館
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- ケ 「つるが街波祭」
- ・期 間 令和 6 年 3 月 16 日（金）～17 日（土）
 - ・場 所 福井県敦賀駅前商店街
 - ・出品物 銅器・漆器の工芸品

③ 高岡地域地場産業センター展示販売場を利用した県内地場産品情報の提供

展示販売場において、季節に合った伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。

ア 端午の節句、御車山祭り、母の日、春商品の展示

- ・期 間 令和5年4月1日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

イ 父の日、夏商品の展示

- ・期 間 令和5年5月15日～
- ・主な商品 錫製ビアカップ（高岡銅器）、風鈴（高岡銅器）など

ウ 秋商品の展示

- ・期 間 令和5年8月25日～
- ・主な商品 しおり、人形（越中和紙）など

エ 干支商品、お正月の展示

- ・期 間 令和5年10月2日～
- ・主な商品 干支置物（高岡銅器、越中和紙）、お正月商品（高岡漆器、庄川挽物木地）など

オ 桃の節句、春商品の展示

- ・期 間 令和6年2月1日～
- ・主な商品 雛飾り（高岡漆器、井波彫刻、越中和紙、庄川挽物木地）など

カ 端午の節句、御車山祭り、春商品の展示

- ・期 間 令和6年3月7日～
- ・主な商品 兜飾り（高岡銅器）、鯉のぼり（越中和紙）など

④ 「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

⑤ イオンモール高岡西館「T. OCUL」の運営協力

㈱ジェック経営コンサルタントが運営するイオンモール高岡西館「T. OCUL」に協力をを行い、県内地場製品の普及に努めた。

(3) 来館者誘致事業

北陸新幹線金沢・敦賀間の延伸開業により関西圏域からの観光客の増加が期待されることから、旅行エージェントやメディア等に対して地場産品や当センター施設を広く周知するため、情報提供や出向宣伝を積極的に行い来館者の誘致に努めた。

また、新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

①北陸デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議への参加

- ・日程 令和5年11月8日（水）11:00-18:00
- ・会場 福井県産業会館（福井県福井市下六条町 103）

- ・内容 全国の旅行関連会社に対し、ZIBA ものづくり工房鑄物で体験できるぐい呑み制作体験の実演を行いながら施設についての解説を行った。

②福井県旅行エージェントへの出向宣伝

- ・日程 令和6年3月7日(木)～8日(金)
- ・場所 敦賀市、越前市、鯖江市、福井市、坂井市の旅行エージェント会社
- ・内容 延線開業する北陸新幹線等を利用しての団体客やツアーなどの誘致に向けた当センターの受入体制や魅力の説明を行った。

(4) 地場産業情報提供事業

①ホームページ等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペース等を利用した情報提供

事務室前通路等に伝統工芸PRパンフレットを設置し情報発信を行ったほか、ZIBA ショップ内の展示スペースを活用し、新商品開発の発表などの企画展示を実施した。

- ・令和5年9月1日～10日 第53回高岡漆器展示会(伝統工芸高岡漆器協同組合主催)

③産業資料館による情報提供

産業資料館内において、県内伝統的工芸品の歴史や製造工程などのパネルと併せ、工程見本や伝統工芸士作品などを展示し、伝統的工芸品の魅力をわかりやすく紹介すると共に周知を図った。

④御旅屋セリオからの情報発信

イベントや商品の案内だけでなく、ものづくり体験に来られたお客様の体験の様子や、実施したイベントの様子を当財団のHPやSNSで発信し、お客様に身近に感じてもらえるような情報発信に努めた。撮影スタジオST@R-ZIBAは、地場産業企業を中心に各社のECサイトに掲載する商品写真の撮影に活用された。当財団のオンラインショップ商品もST@R-ZIBAで撮影し、サイトの充実、改善に取り組んだ。

(5) 開館40周年記念事業

当センターの開館40周年を記念し、県内伝統工芸産地や全国の地場産業振興センターと連携を図り、全国各地の地場産品の販売やものづくり体験、伝統産業アイドルのステージなど地場産業に親しんでもらえる記念イベントを開催し、期間中2,800人を超える集客があった。

また、各団体の協力を得て、40周年を記念する体験教室などを開催した。

ア 開館40周年記念イベント

- ・期間 令和5年10月14日(土)～15日(日)
- ・場所 高岡地域地場産業センターZIBA
- ・内容 (ア)高岡銅器、高岡漆器特別販売会及び全国地場産業センターフェア

- ・高岡銅器ブランド大展示会、高岡漆器イッピン展
- ・全国の地場産業振興センターから10地域の地場産センターが一堂に会し、その地域を代表する工芸品や食品などを販売した。

＜出展センター＞青森県／（一財）VISIT はちのへ

岩手県／（公財）盛岡地域地場産業振興センター
 栃木県／（公財）栃木県南地域地場産業振興センター
 新潟県／（公財）燕三条地場産業振興センター
 山梨県／（一財）山梨県地場産業センター
 長野県／（公財）南信州・飯田産業センター
 京都府／（公財）丹後地域地場産業振興センター
 愛媛県／（一財）今治地域地場産業振興センター
 福岡県／（公財）久留米地域地場産業振興センター
 宮崎県／（株）ココニクル都城

（イ）ものづくり体験

- ・富山県の伝統工芸品を職人から教わりながら作るワークショップを開催した。

体験内容 井波彫刻 /獅子頭の絵付け体験
 庄川挽物木地/丸盆に絵付け体験
 越中和紙 /和紙すき体験
 福岡菅笠 /すげコースター体験

（ウ）伝統産業アイドル minT デビューステージ

- ・「伝統産業アイドル minT」が会場ステージにてパフォーマンスの披露や富山の伝統工芸品について分かりやすく紹介した。

（エ）飛騨高山のうまいもんフェア

- ・飛騨高山のみたらし団子や飛騨牛、あゆ焼きなどを販売した。

（オ）映画デンサンの上映会

- ・国内のみならずニューヨークとパリでも上映され好評を博した高岡鑄物の鑄物師を主人公にした映画「デンサン」をイベント会場にて上映した。

イ 全国高岡銅像マップの制作（伝統工芸高岡銅器振興協同組合 共催事業）

- ・高岡で作られた銅像で代表的な作品を写真と共に日本地図へ印し、紹介したパネルを制作した。

ウ 漆絵と蒔絵の教室（伝統工芸高岡漆器協同組合 共催事業）

- ・漆を使って漆絵や蒔絵の技法を学び、最終的には好きな器物に模様を描く教室を開催した。期間/令和5年10月～令和6年3月までの月2回講座。

エ 高岡漆器探究1 Day ツアー(高岡市デザイン工芸センター 共催事業)

- ・高岡漆器の歴史や製造から販売に至るまでの産業を学ぶ他、漆を使用した実技講習を行い伝統工芸の周知を図った。

3 人材育成事業

(1) 青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・特別支援学校の児童・生徒の体験実習を支援した。

また、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援した。

令和5年度は、1,253人(昨年度1,110人)が来館し体験や見学を実施した。

① 「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。令和5年6月15日を初回に、年間19日間にわたって延べ14校が体験実習した。

ア 鋳物の体験(錫の鋳込みを実習)

- ・小学6年生14校(708名)

イ 漆器の体験(螺鈿貼りを実習)

- ・利用なし

ウ 産業資料館、ZIBAの見学

- ・小学5年生12校(545名)

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日(6時間)の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数6名。漆器体験講座受講者数6名。

- ・漆器体験講座 令和5年7月25日(火)、7月31日(月) 午前9時~12時
- ・鋳物体験講座 令和5年7月25日(火)、7月31日(月) 午後1時半~4時半

(2) 工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより広く工芸技術を体験できる機会を提供し、鋳物・漆器・特別体験に合わせて1,053人(昨年度1,109人)の利用があった。

- ・鋳物体験(ミニ水盤、ぐいのみ) 306人(昨年度363人)
- ・漆器体験(ペンダント、ミニパネルなど) 317人(昨年度191人)
- ・特別体験 430人(昨年度657人)

(内訳)	朱塗りスプーンへの絵付け体験	90人
	菅コースター体験	30人
	移転周年イベント6産地体験	187人
	なべ祭りイベント6産地体験	123人

4 地場産業支援事業

(1) 商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開のため各販売施設における販売実績・POSデータを利用する独自の販売集計システムにより、販売実績を迅速に処理し、産地組合等へ販売情報を提供した。また、ZIBA展示場のPOS管理データを活用し消費者ニーズ分析を行い業界へのマーケティング支援として情報提供した。

(2) 産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

総会、部会長会議の開催や販路開拓事業、文化財修理等における事業に対して事務支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

総会、役員会、正副会長会議の開催や富山県伝統工芸士展等の事業に対して事務支援を行った。

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催等に対して事務支援を行った。

②団体に対するその他の支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

高岡の伝統産業（技術・作品等）を発信・PRする『暮らしに生きる伝統のかほり展』を支援した。

(ア)「クラフトフェア ツギノテ」の開催

- ・期間 令和5年11月3日(金)～11月4日(土)
- ・場所 高岡市営高岡中央駐車場（高岡市下関町6丁目11）
- ・内容 産業技術展示エリアとマーケットエリアを設け、技術と販売の両面からPR

(イ)「ツギノテ 会場内、工房見学ツアー」

- ・期間 令和5年11月4日(土)
- ・場所 参加企業の各工房
- ・内容 参加企業の工房を実際に見学

イ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業実施に対して支援した。

(ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・期間 令和5年9月1日(金)～9月10日(日)
- ・場所 (公財) 高岡地域地場産業センター

(イ)「第 58 回全国漆器展」への出展

- ・期間 令和 5 年 9 月 15 日(金)～9 月 28 日(木)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 日本漆器協同組合連合会、(一社) 日本漆工協会、(一財) 伝統的工芸品産業振興協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期間 令和 5 年 4 月 1 日(金)～令和 6 年 3 月 20 日(水)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

(エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・期間 令和 5 年 11 月 2 日(木)～11 月 5 日(日)
- ・場所 岡山県

ウ 高岡巧美会

伝統的工芸品である高岡銅器・高岡漆器への理解と普及を図るため、消費地である東京にて開催する「ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！高岡の伝統工芸品展」に対して支援した。

- ・期間 令和 5 年 11 月 24 日(金)～11 月 30 日 (木)
- ・場所 伝統工芸青山スクエア (東京都港区)

エ 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

地場産業と全国のデザイナー・クリエイターの交流をはかり、新たな産業の育成や異業種との連携を促すことなどにより伝統産業の振興を目的としたクラフトコンペティションに対して支援した。

- ・期間 令和 5 年 11 月 3 日(金)～5 日(日)
- ・場所 御旅屋セリオ 2 階特設会場

オ 富山県伝統工芸士会

富山県内の伝統的工芸品の伝統工芸士が制作する作品の展示をすることにより、伝統工芸の技術と魅力を伝え、また新たな作品作りへの情報収集の場とすべく開催する第 26 回富山県伝統工芸士展事業に対し支援した。

- ・期間 令和 5 年 8 月 28 日(月)～9 月 10 日(日)
- ・場所 日本橋とやま館

カ 富山県伝統産業協議会

小・中学生を対象に、伝統的工芸品の製作技術や手作り品への愛着を将来に向けて継承していくため、伝統的工芸品の制作体験をとおり、理解や興味を深めてもらうことを目的とした事業に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・開催日 令和 5 年 12 月 9 日(土)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房鋳物

- ・内 容 「錫製バンゲル」の製作
- (イ) 漆器に親しむつどい
 - ・開催日 令和5年7月29日(土)
 - ・場 所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房漆器
 - ・内 容 小箱づくり(蒔絵の加飾体験)
- (ウ) 井波彫刻の体験教室
 - ・開催日 令和5年10月14日(土)
 - ・場 所 五箇山合掌の里 施設2階
 - ・内 容 木彫りの獅子木札塗り体験
- (エ) 庄川挽物木地の体験教室
 - ・開催日 令和6年1月11日(木)
 - ・場 所 砺波市立庄川小学校
 - ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験
- (オ) 越中和紙の体験教室
 - ・開催日 令和5年6月23日(火)、7月14日(金)、10月23日(月)
10月30日(月)、11月1日(水)、11月2日(木)
11月21日(火)、12月5日(火)、12月27日(水)
令和6年1月10日(水)
 - ・場 所 五箇山和紙の里・楮畑、桂樹舎、自治会館和紙伝承室(蛭谷)
 - ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験(卒業証書用紙・掛軸台紙)
- (カ) 越中福岡の菅笠の体験教室
 - ・開催日 令和5年11月14日(火)
 - ・場 所 高岡市立福岡中学校
 - ・内 容 豆笠の製作体験

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

旧施設において営業中の入居者に対し、必要とする範囲の貸付けを行った。全入居者が退去したため、当年度中に事業を廃止した。

2 一般品目販売事業

施設利用者や観光客の利便に供する地場産品の食品や小物、飲料品、お土産などの公益目的に合致しない商品についても顧客ニーズに沿うような取り揃えに努めた。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

① 第40回理事会

- ・開催日 令和5年5月29日(月) 午前10時30分～11時11分
- ・議案 令和4年度事業報告について
令和4年度収支決算の承認について
不動産貸事業（収益事業1）の廃止について
定時評議員会への招集について
- ・出席 理事 出席9名、欠席2名
監事 出席2名

② 第41回理事会(書面)

- ・開催日 令和5年6月16日(金)
- ・議案 理事長（代表理事）の選定について
副理事長（代表理事）の選定について
専務理事（業務執行理事）の選定について

③ 第42回理事会(書面)

- ・開催日 令和5年7月10日(月)
- ・議案 副理事長（代表理事）の選定について

④ 第43回理事会

- ・開催日 令和6年3月25日(月) 午後2時00分～2時25分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 令和6年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考について
役員報酬規程の改定について
令和6年度事業計画について
令和6年度収支予算について

資金調達及び設備投資の見込みについて

- ・ 出 欠 理事 出席 9 名、欠席 2 名
監事 出席 2 名

(2) 評議員会

① 第 1 回評議員会(書面)

- ・ 開催日 令和 5 年 4 月 1 日(土)
- ・ 議 案 役員の選任について
評議員の選任について

② 定時評議員会

- ・ 開催日 令和 5 年 6 月 16 日 (金) 午後 2 時 00 分～2 時 50 分
- ・ 議 案 令和 4 年度(公財)高岡地域地場産業センター収支決算について
役員改選に伴う選任について
- ・ 報告事項 令和 4 年度(公財)高岡地域地場産業センター事業報告について
不動産貸事業 (収益事業 1) の廃止について
- ・ 出 欠 出席 8 名、欠席 3 名

③ 第 2 回評議員会(書面)

- ・ 開催日 令和 5 年 7 月 10 日 (月)
- ・ 議 案 役員の選任について

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換を行った。

- ・ 開催日 令和 5 年 7 月 6 日 (木)、7 日 (金)
- ・ 会場 姫路西はりま地場産業センター
- ・ 内容 議案審議
令和 4 年度事業報告及び収支決算
令和 5 年度事業計画及び収支予算
役員 (次期会長、副会長、幹事センター) の選任
次期総会開催地の決定
近畿ブロック・中部四国ブロックの統合について
事例発表
電子決裁システムの導入について
デジタル地域通貨「ながいコイン」の導入について